

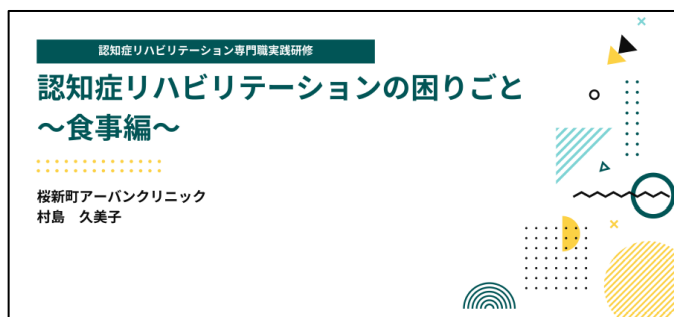
認知症リハビリテーション実践者研修

～考えよう!認知症リハビリテーションの困りごと 排泄編～

千葉県作業療法士会は、千葉県理学療法士会、千葉県言語聴覚士会と連携して、認知症リハビリテーション専門職実践研修～考えよう!認知症リハビリテーションの困りごと～を実施している。目的は臨床現場での困りごとや対応方法を共有し、つながりを作ることである。

2025年度は食事編を実施し、作業療法士、歯科医師、摂食嚥下認定看護師、管理栄養士、言語聴覚士、訪問介護士の各職種から、アセスメントや対応について、事例を含めて報告し、グループワークを実施した。参加者は18名であった。

2026年度は排泄編として、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、訪問介護士の方を講師として、同様の形式で10月に実施予定である。



オレンジカフェ見学会(予定)

認知症の人本人やご家族が参加しているオレンジカフェが各市町村で設置されていることは知っているが、実際に見学し、それぞれどのような活動をしているかまで把握する機会は少ない。

そのためオレンジカフェを見学・体験し、各地域での実施状況や参加者の声や課題を知り、今後の活動に活かす機会とするため、千葉県内のオレンジカフェ見学会を2026年度に検討する。



千葉県認知症対策推進協議会 作業部会への委員派遣

2026年度の千葉県認知症対策推進協議会の作業部会で、「ちばオレンジ大使」を中心とした認知症の人本人とその家族から意見を聴取することになった。「ちばオレンジ大使」とは、自分の想いや考えを発信する認知症の当事者として、千葉県から任命された人である。この作業部会で得られた意見を、千葉県認知症対策推進協議会に報告し、今後の高齢者保健福祉計画などに反映していく。

その作業部会の委員として、千葉県作業療法士会が推薦された。千葉県作業療法士会は2022年度にちばオレンジ大使へのインタビューを実施し、それを基に研修や学会のワークショップで共有した経験もあり、この作業部会において、内容や環境設定などを提案していく。